

菅平生き物通信



発行者／筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所 〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278-294 ☎0268-74-2002 FAX 0268-74-2016
https://www.msc.tsukuba.ac.jp/ ✉ ikimono_srs@un.tsukuba.ac.jp 第103号 2024年(令和6年)6月9日(日)発行 ©菅平高原実験所

野辺山高原の大学の森

筑波大学生命環境系 准教授
山岳科学センター八ヶ岳演習林

清野 達之



図1：落葉期の八ヶ岳演習林の森、株立したミズナラとヤエガワカンバの森



図2：初春の八ヶ岳演習林の湿地林



図3：ヤエガワカンバ(手前左)とシラカンバ(右奥)の樹皮の違い

八ヶ岳の東麓に位置する長野県南牧村の野辺山高原は、高原野菜の産地としてご存じの方も多いでしょう。ここにも筑波大学の野外研究施設があります。今回は、その筑波大学山岳科学センター八ヶ岳演習林を簡単に紹介します。

筑波大学山岳科学センター八ヶ岳演習林(以下、八演^{やつえん})は、野辺山高原の標高約1360mにあります。演習林とは、大学の森林科学の教育研究のために開設された大学の森です。ここでは林業や生態学に関するフィールドの最前線として、少数のスタッフですが通年で維持管理を行なっています。それでは、八演の森の様子を簡単に解説します。

八演の森はミズナラ (*Quercus crispula* Blume var. *crispula*)

樹木園 花と果実の暦^{こよみ}

当施設では、敷地内の樹木園を平日に一般公開しています。左記の月ごとのようすを参考にぜひお越しください。正門から入って正面の建物内で来訪者の受付をしています。なお、その年の気象状況によって開花時期などは変わりますので、詳しくはお問い合わせください。

樹木園で見られる主な花や果実(時期の目安)

- 4月※ 〈花〉マンサク、バッコヤナギ、カタクリ、コブシ、ダンコウバイ、ツノハシバミ、ヤマナラシ、フサザクラ
- 5月 〈花〉シロモジ、オオヤマザクラ、ハウチワカエデ、ブナ、マメザクラ、イタヤカエデ① (木々が芽吹きだす)
- 6月 〈花〉ミヤマザクラ②、ツリバナ、マユミ、サワフタギ、ハクウンボク、ハナヒョウタンボク、カマツカ
- 7月 〈花〉イヌツゲ、シナノキ、ミヤマイボタ、ウリノキ、ヤマボウシ、クリ 〈果実〉ミヤマウグイスカグラ、ヤマゲワ
- 8月 〈花〉イヌエンジュ、ノリウツギ、リョウブ、ハリギリ 〈果実〉ツノハシバミ、ニワトコ、ナワシロイチゴ
- 9月 〈花〉コシアブラ 〈果実〉オニグルミ、オオツリバナ、ナワシロイチゴ、ザリコミ (キノコがたくさん見られる)
- 10月 〈花〉マルバノキ③ 〈果実〉ミヤマガマズミ、コマユミ、トチノキ、メギ、ヤマブドウ (紅葉が始まる)
- 11月※ 〈果実〉ツルリンドウ、イチイ、チョウセンゴミシ、ツルウメモドキ、チョウセンゴヨウ (落葉が進む)

※積雪状況によっては閉園となります

(技術専門職員 山中)



③



②



①

2月に開催した「SDGs フォーラム in 信州上田 みんなで捉えろ!気候変動と生物多様性」の講演を、YouTubeで公開しています。



筑波大学
山岳科学センター

@TsukubaMSC



「2023年度 SDGs フォーラム in 信州上田」7 (講演「上田の身近な自然の魅力～高原・ため池・山城の草原再生～」田中 健太)より

八演は森林に加えて、湿原も広く観られることも特徴の一つです。イネ科のヌマガヤ (*Molinopsis japonica* (Hack.) Hayata) と、ヤエガワカンバと同じカバノキ科の樹木で湿原に生えるハンノキ (*Alnus japonica* (Thunb.) Steud.)、バラ科の低木のズミ (*Malus toringo* (Siebold) Siebold ex de Vriese) で構成されています。ズミは長野県の名産であるリンゴの台木としてご存じの方もいるかも知れません。他にも湿原でしか観られないような、希少な植物もひっそりと存在しています。野辺山高原から少し離れた管理棟がある構内は、「恵みの森」として一部を皆さんにも公開しています。散策路を歩きながら、これらの植物に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。ご来林をお待ちしています。

ミズナラに加え、ヤエガワカンバ (*Betula davurica* Pall.)、シラカンバ (白樺) と同じカバノキ科の樹木も多く観られます。シラカンバに似ていますが、和名の由来にもなった八重に樹皮が重なって裂ける面白い幹が特徴です。なんのことはない雑木に見えますが、日本では長野県の野辺山周辺と北海道の一部でしか観られません。実は希少種だったりします。

八演は森林に加えて、湿原も広く観られることも特徴の一つです。

その材料にこのミズナラが使われたようです。今でも八演の林内を歩いていると、昔の炭焼き窯の跡を目にします。こうして炭の材料として伐採されたミズナラは、切り株から萌芽という形で再生し、それが現在の森の様子になっています。実際にミズナラの切り株から年輪の数と幅を測定してみると、それを裏付ける結果がわかりました。

に代表される落葉広葉樹林です。ミズナラは秋にどんぐりをつけるブナ科の樹種で、皆さんにも馴染みがあるかと思いますが、八演の森に入ってみると、ミズナラの多くは株立しています。昭和30年代頃は、この周囲で炭焼きを行なっていた、

イベント情報

夏の自然観察会「初夏の草原と森の観察、そして滝へ」

菅平ナチュラリストの会（ボランティアアガイド）と一緒に、季節の草花や樹林を観察しながら通常非公開の大明神の滝を目指します。

- 日時 7月13日（土） 9時30分～12時
- 定員 30名
- 参加費 50円（保険代）
- 会場 菅平高原実験所
- 服装・持ち物 長袖、長ズボン、歩きやすい靴、帽子、雨具、虫よけ、飲み物（水分補給用）
- 申し込み 6月25日（火）9時～28日（金）に、①氏名、②住所、③電話番号、④メールアドレスを明記のうえ、イベント共通の問合せ先へメールでお申し込みください。先着順。数名のグループでお申し込みの場合は、全員の氏名と住所を記載してください。
- 参加の可否について数日以内にご返信します。
- 事前に悪天候が予想される場合は中止となります（中止の場合は前日連絡）。
- イベント当日に体調不良の症状がある場合は参加をお控えください。

小学生～高校生対象イベント なつやすみ菌類観察会

野外にはキノコなど、たくさん菌類がいます。大学の先生と一緒に菅平高原実験所の森で観察し、どんな菌類がいるのか調べてみましょう。親子でもご参加いただけます。



- 日時 8月6日（火） 10時～15時
- 内容 午前はフィールド観察と菌類の採集、午後は採集物の整理
- 講師 出川洋介（筑波大学 准教授）
- 対象 小学生～高校生（小学3年生以下は保護者同伴）
- 定員 16組32名（付添含む）
- 参加費 50円（保険代）
- 会場 菅平高原実験所
- 服装 森や草むらで活動するため長袖と長ズボン、歩きやすい靴、帽子
- 持ち物 昼食、水筒、筆記用具、雨具、軍手、虫よけ
- 申し込み 7月17日（水）～24日（水）にフォームから。
▼フォーム 
- 先着順。複数でお申し込みの場合はひとつのフォームに入力してください。
- 参加の可否について数日以内にご返信します。

〈イベント共通〉

問 筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所
〒0268-742002（平日9～17時）
✉ ikimono_srs@un.tsukuba.ac.jp

山岳地域における遺伝的多様性 データベース構築にむけた 先端研究教育拠点の形成



3月の国際ワークショップセミナーにて（前列左端は津田准教授）

山岳科学センターでは経済発展が著しいアジア山岳地域での生物多様性保全の観点から、2022年度、中国やインドなどアジア6拠点と共同研究教育体制を構築しました（事業コーディネーター 津田吉晃准教授）。山岳地域の様々な生物群を対象に、各拠点と共同でデータ収集や解析を行うほか、国際ワークショップなどを通じて若手研究者の育成を進め、持続可能な開発目標（SDGs）に貢献したいと考えています。

本通信の印刷・配布は
東郷堂様にご協力いただいております

次号は9月発行予定です